



北嶺回峰行觀南浩元大行滿大阿闍梨による立印加持



法要は森川宏映天台座主猊下を大導師に、千日回峰行を満行した大行滿大阿闍梨が護摩供を修し、世界平和と共に東日本大震災での震災犠牲者の慰靈と被災地の早期復興を祈り奉修されるものですが、本年は新型コロナウイルス感染の早期終息も併せて祈られます。また、大護摩法要執行についてはウイルス感染の状況を鑑み、当日のご参拝のおすすめは差し控える形で行われます。誠に残念ですが昨今の情勢を考えると、今後も奉修日の変更等世情に柔軟な対応を考えていかなければならぬのかかもしれません。

そもそも「比叡の大護摩」は「比叡山宗教サミット」と同様に、祈り続け、祈りの輪をさらに大きく広げることが本願です。今後の情勢で大護摩の形がどのように変換しようとも、弛まなく祈り続ける信念こそが、国家や民族・宗教の違いを越え、争いの心を融かし、平和への道を切り開き歩ませてくれることと信じています。

道場となる奥比叡ドライブエイ峰道の伝教大師大尊像は、昭和61年7月、比叡山開創千二百年慶讃大法会を前に、中野英賢師を会長とした伝教大師像奉安会が大阪城ホールにて開眼法要を執り行い、翌年、大法会開闢に合わせ5月3日に現在の地へと建立された高さ5.5m、台座を含めると11mにもなる比叡山上最大の祖師像で、峰道の名所となっています。

「比叡の大護摩」として恒例となつたこの法要是、昭和62年8月4日に、日本の宗教界が一致して世界の宗教界に呼びかけ、比叡山上にて互いの宗教の壁を乗り越えて共に平和を祈つた「比叡山宗教サミット」での祈りを根幹とし、平成2年、その歴史を作り上げた責務を果たすこと。また「一隅を照らす運動」を実践するための第一歩として始められました。

靈峰比叡山では、世界平和と除災招福を祈念する「比叡山大護摩供」が毎年3月13日、比叡山西塔峰道の伝教大師大尊像前で奉修されており、本年で32回を数えます。



発行所
比叡山時報社
□jihoh@deluxe.ocn.ne.jp
〒520-0116
電話 077-578-0001
振替 00970-2-9732
宗教法人延暦寺事務所
定価 1部110円 年1200円

延暦寺広報
比叡山講福聚教会
会報
年度会費(3000円)中に会報(比叡山時報)購読料を含む。

令和3年比叡山から
発信する言葉
自他心を同じくす



ご購読は
こちらから

祈り続ける信念

